

令和4年度 国立吉備青少年自然の家教育事業
チームビルディング研修

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

青少年教育活動や学校での学級経営などで仲間づくりに興味のある方が、講義・演習を通して活動の目的を達成するための基本理念を理解し、様々な仲間づくりゲームを体験することで、日常で活かせる実践力を身に付ける。

2. 事業の概要

(1) 期日

令和4年10月22日（土）日帰り

(2) 参加者

① 募集対象・人数

青少年教育指導者・教員・学生・その他仲間づくりに興味のある方
24人

② 参加者

6人

(3) 講師

藤本 昌克（国立吉備青少年自然の家 企画指導専門職）

角田 怜那（国立吉備青少年自然の家 企画指導専門職付）

(4) 企画・運営のポイント

- ① 講師が普段の仲間づくりで使用している用具やお勧めできるゲームを紹介することで、より実践的な研修にすることができた。
- ② 当施設職員が主体となって2名体制で指導にあたることで、スキルアップにつながる機会とした。
- ③ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、手指消毒や部屋の換気による環境面でも対策を講じることで、参加者が安心して研修を受けられる体制を整えた。

3. 活動の内容等

(1) 日程

10月22日（土）	
9:30	受付
10:00	開会式
10:30	KAP（吉備アドベンチャープログラム）の体験
12:00	昼食
13:00	KAP（吉備アドベンチャープログラム）の体験 所内にあるPA施設（ローエレメント）等の体験
15:30	閉会式 解散

(2) 活動状況



【KAPの体験①】



【KAPの体験②】



【KAPの体験③】



【所内にあるPA施設の体験】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：50% やや満足：34% やや不満：16%

(2) 参加者の声

- ① 体験という形だったのでたくさんのレクに触れることができよかったです。
また、指導者養成講習会のようなものにも興味があります。
- ② 参加人数が少なく、日帰りのプログラムというのも残念でした。

(3) 成果

- ① 日帰りで実施することで、参加者への負担を減らし、参加に対する敷居を低くすることができた。
- ② 新型コロナウイルス感染防止の対策を参加者にも徹底してもらうことで、安心して参加してもらうことができた。

(4) 今後の課題

参加人数が確保しにくい状況になっているため、事業の目的と合わせて再構築する必要がある。

担当：企画指導専門職付 西川 和志